

### 4.2.2.3 日常管理調査票施設管理者版の使用例とQ&A

点検様式-2(1)と様式-2(2)の使用例2つとQ&Aを示す。

表 4.2.15 日常管理調査票施設管理者版様式(1/2) 使用例その1

Q.調査票への記載は「地すべりブロックごと」か「施設ごと」のどちらか？  
 A.1施設1枚で記載してください。堰堤工の場合、本堤から副堤・垂直壁を含め、それを繋ぐ側壁護岸や水叩きまで含めて1施設とします。暗きよ工・明暗きよ工は、流末(道路側溝や大きな縦排水路、溪流等)までつながる一連の水路を1施設の目安とします。それ以外の工種(溪流護岸工、擁壁工、押え盛土工、杭工)については、連続的に設置された一群を1施設と考えてください。

Q.ブロック名、施設名がわからないときはどうするか？  
 A.わかりやすいブロック名、施設名を任意で付けてください(施設の位置がわかればよいので、正式名である必要はありません。)ただし、その場合、様式-1(2)に、周辺施設を含めて凡その位置をイラスト等で示してください。施設位置の把握は携帯式のGPSを活用する方法もあります。

Q.自由記入にはどのようなことを記載するのか？  
 A.「異常あり」とした点以外に、周囲と見比べて何か違うと感じたことや、各項目で気づいた点、点検状況について記載してください。また、周辺の道路情報や聞き取り結果なども記載してください。

様式-2(1) **地すべり防止施設調査票(暗きよ工・明暗きよ工) 日常管理調査票(1/2)**

点検年月日 **2015/11/18** 天候 **曇り** 点検者 **□□□□**

諸元 区域名: **△△△地区** ブロック名: **D②** 施工年度: **S48年度**  
 該当施設(施設番号): 暗きよ工・明暗きよ工( **明暗きよ工 D②-1** )

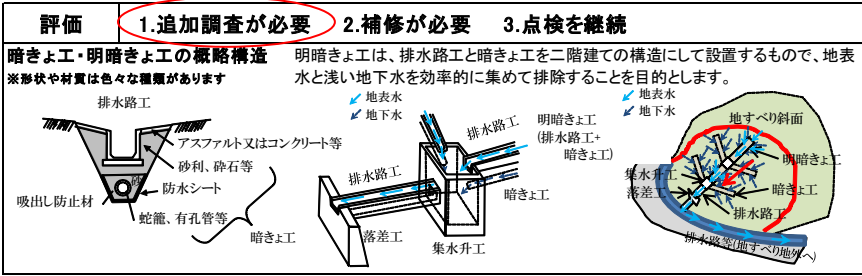
対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☒をチェック)	結果(☑をチェック)
<input checked="" type="checkbox"/> 暗きよ工 <small>・暗きよ工吐き口の有無を確認                      ☑あり ☒なし(見当たらない)</small>	<input type="checkbox"/> 1.排水量がない <input type="checkbox"/> 2.吐き口の明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 3.吐き口の变形・破損 <input checked="" type="checkbox"/> 4.吐き口の埋没	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( <b>1</b> 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全孔目全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず☒見えず
<input type="checkbox"/> 排水路工 <small>・排水路工の有無を確認                      ☑あり ☒なし(見当たらない)</small>	<input type="checkbox"/> 1.变形・破損(目地切れ、ひび割れ、錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 2.閉塞・埋没(土砂、落葉等の堆積) <input type="checkbox"/> 3.流末の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず☒見えず
<input type="checkbox"/> 集水升工・落差工 <small>・集水升工、落差工の有無を確認                      ☑あり(集水升工)                      ☑あり(落差工)                      ☒なし(見当たらない)</small>	<input type="checkbox"/> 1.变形・破損(目地切れ、ひび割れ等) <input type="checkbox"/> 2.閉塞・埋没(土砂、落葉等の堆積)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず☒見えず
<input type="checkbox"/> 周辺状況 <b>④周辺の状況</b>	<input type="checkbox"/> 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押し出し・吸出し・亀裂等) <input checked="" type="checkbox"/> 2.湿地の形成(水たまり・湧水等)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり ( <b>1</b> 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず☒見えず

・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください(自由記入)  
 ・吐口は土砂で埋没しているが、流水は確認できる。ただし、排水が垂れ流し状態であるため、周辺は湿地化している。  
 ・西側斜面からは地表水が流下しており、斜面中腹には表流水の洗掘作用による陥没箇所が見受けられる。  
 ・呑口想定位置にはΦ204.89mmのヒューム管が溪流護岸工に埋め込まれている。ただし、このヒューム呑口は現在、河川水位よりも高い位置にあることから、暗きよ工呑口かどうかについては不明

・暗きよ工・明暗きよ工の路線全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。(紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)  
 ・様式-2(2)参照

Q.「施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください」とはどのように使うのか？  
 A1.紙面不足の場合、別紙様式-2(2)「位置図・写真(自由書式)」に記入してください。(次頁に記入例)

※位置図や写真は別添に記載してください



Q.異常が見られる項目とは何か？  
 A.「異常が見られる項目」は、施設の機能に関係すると思われる目視で確認可能な状態や現象を指します。

Q.明らかな目詰まりとはどのような状態か？  
 A.外から見て孔に何らかの物質が確認できれば、明らかな目詰まりとします。

Q.異常あり・異常なしの区分が難しい  
 A.「異常が見られる項目」は、点検時の目視の結果、明らかな変位や変形、ずれ、ひび割れ等が容易に確認できるものにチェックします。示してある項目が確認できれば「異常あり」と判断し、□にレを入れてその箇所数を記入してください。目視によって、一部しか見えないような場合でも、見える範囲で「異常あり」「異常なし」のどちらかにチェックをしてください。

表 4.2.16 日常管理調査票施設管理者版様式 (2/2) 使用例その1

施設管理者版

様式-1(2)

位置図・写真(自由書式) 日常管理調査票(2/2)

点検年月日	2015/11/18	天候	曇り	点検者	■■■■■
諸元	区域名	■■■■■	地区ブロック名:	D②	
	該当施設(施設番号):	暗きょ工・明暗きょ工(明暗渠工D②-1)			

P-1 暗渠排水工吐口 全景

P-2 暗渠排水工 吐口  
流水あり、周辺湿地化

P-3 暗渠排水工脇 西側斜面からの地表水

P-4 暗渠排水工脇西側斜面中腹  
表流水の洗掘作用による陥没

P-5 暗渠排水工脇 横ポーリング孔

P-6 暗渠排水工設置位置  
No.4付近より起点側を望む

P-7 暗渠排水工設置位置  
No.4付近より終点側を望む

P-8 暗渠排水工呑口 溪流護岸工施工済み

吐口埋没  
排水は垂れ流し

地表水流下  
陥没箇所有り

50 m

Q.どのような写真を貼付するのか?

A.全景写真と、点検の際に確認した異常箇所の写真を撮影し、貼付してください。ただし、写真を撮影する時は、安全な場所から行うようにしてください。無理に危険なところまで行って撮影する必要はありません。

全景写真は1枚で納まらない場合もあるので、そのような場合は複数枚撮影し、それぞれのつながりがわかるように記録することが望ましいです。

また、以前と違った状況(例えば、人家ができた等)があれば、情報として写真で記録を残してください。

写真にはコメントをつけたり、異常が見られた箇所がわかるように○で囲む等しておく、理解しやすくなります。

Q.「施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください」とはどのように使うのか?

A.2点検の際に確認した異常箇所がどこにあるか○で囲んだり、点検時に撮影した写真の撮影位置を示してください。簡単なメモ程度の図でも構いません。(記入例は位置図を貼り付けて使用した場合)

Q.位置図・写真(自由書式)はどのように使うのか

A.点検の際にあった方がよいと思う情報や、これまでの記録を自由に記載してください。また、点検時に得られた情報なども記載してください。点検者が変更した場合でも、情報が引き継げるように、それぞれの現場での留意事項などがある場合はまとめて記載してください。なお、本調査票は記録用であるため、本調査票とは別に、対象とする施設(群)の位置がわかる地図等を用意して、施設(群)の位置関係を把握しながら、現地での点検をしてください。

表 4.2.17 日常管理調査票施設管理者版様式 (1/2) 使用例その2

様式-2(1) 地すべり防止施設調査票(擁壁(枠)工) 日常管理調査票(1/2)

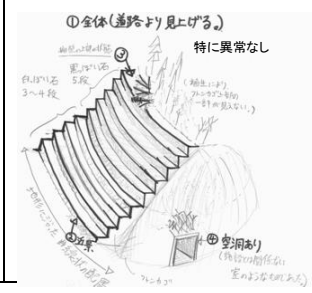
点検年月日	2015/11/19	天候	くもり	点検者	□□□□
諸元	区域名: △△△	ブロック名:	C-5	施工年度:	H-11
	該当施設(施設番号): 擁壁(枠)工( MD-5 )				

対象項目 (☑をチェック)	異常が見られる項目 (☑をチェック)	結果 (☑をチェック)
<b>擁壁(枠)工</b> ①本体 ・擁壁(枠)工の有無を確認 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 <input type="checkbox"/> コンクリート擁壁工 (コンクリートブロック積みを含む) <input checked="" type="checkbox"/> 枠工( <b>フトンカゴ</b> ) <input type="checkbox"/> 不明 ・材質や形状 ( )	<input type="checkbox"/> 1. 損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) <input type="checkbox"/> 2. 変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) <input type="checkbox"/> 3. 破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 4. 湧水※施設周辺の湧水の供給源 (不明・有: )	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
<b>付帯施設</b> ②付帯施設 ・付帯施設の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり(落石防護柵等) <input type="checkbox"/> あり(法尻水路等) <input type="checkbox"/> あり(水抜管等) <input checked="" type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1. 損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) <input type="checkbox"/> 2. 変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) <input type="checkbox"/> 3. 破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 4. 閉塞・埋没(法尻水路の土砂堆積等)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
<b>周辺状況</b> ③基礎地盤	<input type="checkbox"/> 1. 沈下・隆起	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
④周辺の状況	<input type="checkbox"/> 1. 施設背面の変状 (吸出し・陥没・侵食・湧水・崩落・押し出し・亀裂等) <input type="checkbox"/> 2. 構造物背面のすきま	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず

・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください(自由記入)

- ・全体的な安定性については問題なし
- ・フトンカゴの横に空洞あり(施設とは無関係の室のようなもの)
- ・曲線状に配置されている。
- ・上部や背後斜面は植生あり。いまのところ構造物背面のすきまは見られない。

・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。  
(紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載)



Q.「施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください」とはどのように使うのか?  
A3.点検の際に確認した異常箇所がどこにあるかで囲ったり、点検時に撮影した写真の撮影位置を示してください。簡単なメモ程度の図でも構いません。

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.追加調査が必要	2.補修が必要	3.点検を継続
----	-----------	---------	---------

Q.評価はどのように?

A1.追加調査が必要: 「異常あり」が一つでもチェックされていれば、「追加調査が必要」と判断して下さい。また、基本的に異常の原因が分からない場合や異常の全体が把握されていない場合、また地すべりなどの影響が疑われる場合に「追加調査が必要」と判断して下さい。自由記入欄に、調査に対する留意事項や補修方法など、点検者の所見を記入してください。

A2.補修が必要: 異常の原因が明らかで現場で補修方法を定められる場合とします。自由記入欄に、調査に対する留意事項や補修方法など、点検者の所見を記入してください。

A3.点検を継続: 異常が見られない場合は、「点検を継続」と判断して下さい。「点検を継続」とは、目視で検知できる異常がなく、日常管理を続ける場合とします。自由記入欄に、調査に対する留意事項や補修方法など、点検者の所見を記入してください。

表 4.2.18 日常管理調査票施設管理者版様式 (2/2) 使用例その2

様式-2(2)

位置図・写真(自由書式) 日常管理調査票(2/2)

点検年月日	2015/11/19	天候	くもり	点検者	■■■■
諸元	区域名: ■■■■	ブロック名:	C-5	施工年度:	H11
	該当施設(施設番号): 擁壁(枠)工( MD-5 )				



①全景(道路より見上げる)



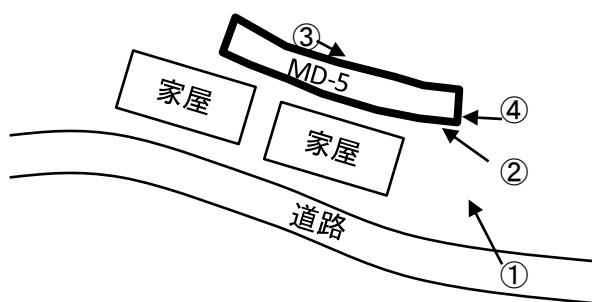
②近景(上5段:黒い石=中詰材は割栗石  
下3~4段:白っぽい石=中詰材は栗石)



③擁壁の上部の状態(背面に隙間なし)  
(※植生があり、見通せない部分もあった。)



④施設横の空洞がある  
(※施設とは関係のない、室のようなものであった)



Q.施設の確認はどこまで行えばよいか？  
 A. 安全に接近できる範囲で見える範囲を基本としますが、人家裏や道路沿い等の重要な保全対象がある場合は可能な限り全数を確認するように心がけてください。なお、高い法面には登ったりせず、明らかな異常がどの付近に発生しているかを確認してください。遠方からの目視しかできない施設等、双眼鏡を用いて可能な範囲を確認してください。そのような場合、目視状況についてコメント欄等を活用して記録してください。

#### 4.2.2.4 日常管理調査票巡視員版の使用例とQ&A

点検様式-2(1)と様式-2(2)の使用例2つとQ&Aを示す。

表 4.2.19 日常管理調査票巡視員版様式(1/2) 使用例その1

Q.調査票への記載は「地すべりブロックごと」か「施設ごと」のどちらか？  
 A.1施設1枚で記載してください。堰堤工の場合、本堤から副堤・垂直壁を含め、それを繋ぐ側壁護岸や水叩きまで含めて1施設とします。暗きよ工・明暗きよ工は、流末(道路側溝や大きな縦排水路、溪流等)までつながる一連の水路を1施設の目安とします。それ以外の工種(溪流護岸工、擁壁工、押え盛土工、杭工)については、連続的に設置された一群を1施設と考えてください。

Q.ブロック名、施設名がわからないときはどうするか？  
 A.わかりやすいブロック名、施設名を任意で付けてください。施設の位置がわかればよいので、正式名である必要はありません。ただし、その場合、様式-1(2)に、周辺施設を含めて凡その位置をイラスト等で示してください。施設位置の把握は携帯式のGPSを活用する方法もあります。

Q.自由記入にはどのようなことを記載するのか？  
 A.「異常あり」とした点以外に、周囲と見比べて何か違うと感じたことや、各項目で気づいた点、点検状況について記載してください。また、周辺の道路情報や聞き取り結果なども記載してください。

様式-2(1) **地すべり防止施設調査票(暗きよ工・明暗きよ工) 日常管理調査票(1/2)**

点検年月日 **2015/11/18** 天候 **曇り** 点検者 **□□□□**

諸元 区域名: **△△△地区** ブロック名: **D②** 施工年度: **S48年度**

該当施設(施設番号): **暗きよ工・明暗きよ工(明暗きよ工 D②-1)**

対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)
<input checked="" type="checkbox"/> 暗きよ工 ・暗きよ工吐き口の有無を確認 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1.排水量がない <input type="checkbox"/> 2.吐き口の明らかな目詰まり <input checked="" type="checkbox"/> 3.吐き口の変形・破損 <input checked="" type="checkbox"/> 4.吐き口の埋没	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (1箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全孔口全体が見える <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
<input type="checkbox"/> 排水路工 ・排水路工の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1.変形・破損(目地切れ、ひび割れ、錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 2.閉塞・埋没(土砂、落葉等の堆積) <input type="checkbox"/> 3.流末の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (1箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input checked="" type="checkbox"/> 見えず
<input type="checkbox"/> 集水升工・落差工 ・集水升工、落差工の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり(集水升工) <input type="checkbox"/> あり(落差工) <input checked="" type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1.変形・破損(目地切れ、ひび割れ等) <input type="checkbox"/> 2.閉塞・埋没(土砂、落葉等の堆積)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (1箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input checked="" type="checkbox"/> 見えず
<input type="checkbox"/> 周辺の状況 ④周辺の状況	<input type="checkbox"/> 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押し出し・吸出し・亀裂等) <input checked="" type="checkbox"/> 2.湿地の形成(水たまり・湧水等)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input checked="" type="checkbox"/> 異常あり (1箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input checked="" type="checkbox"/> 見えず

・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください(自由記入)

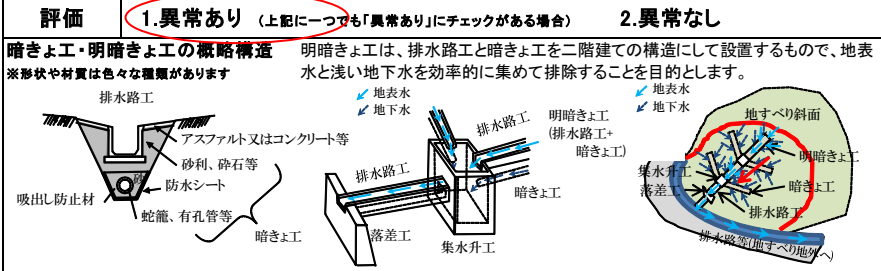
・吐口は土砂で埋没しているが、流水は確認できる。ただし、排水が垂れ流し状態であるため、周辺は湿地化している。  
 ・西側斜面からは地表水が流下しており、斜面中腹には表流水の洗掘作用による陥没箇所が見受けられる。  
 ・呑口想定位置にはΦ204.89mmのヒューム管が溪流護岸工に埋め込まれている。ただし、このヒューム管呑口は現在、河川水位よりも高い位置にあることから、暗きよ工呑口かどうかについては不明

・暗きよ工・明暗きよ工の路線全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。(紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)

・様式-2(2)参照

Q.「施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください」とはどのように使うのか？  
 A1.紙面不足の場合、別紙様式-2(2)「位置図・写真(自由書式)」に記入してください。(次頁に記入例)

※位置図や写真は別添に記載してください



Q.異常が見られる項目とは何か？  
 A.「異常が見られる項目」は、施設の機能に関係すると思われる目視で確認可能な状態や現象を指します。

Q.明らかな目詰まりとはどのような状態か？  
 A.外から見て孔に何らかの物質が確認できれば、明らかな目詰まりとします。

Q.異常あり・異常なしの区分が難しい  
 A.「異常が見られる項目」は、点検時の目視の結果、明らかな変位や変形、ずれ、ひび割れ等が容易に確認できるものにチェックします。示してある項目が確認できれば「異常あり」と判断し、□にレを入れてその箇所数を記入してください。目視によって、一部しか見えないような場合でも、見える範囲で「異常あり」「異常なし」のどちらかにチェックをしてください。

表 4.2.20 日常管理調査票巡視員版様式 (2/2) 使用例その1

巡視員版

様式-1(2)

位置図・写真(自由書式) 日常管理調査票(2/2)

点検年月日	2015/11/18	天気	曇り	点検者	■■■■
諸元	区域名	■■■■	地区ブロック名:	D②	
	該当施設(施設番号):	暗きよ工・明暗きよ工(明暗渠工D②-1)			

P-1 暗渠排水工吐口 全景

P-2 暗渠排水工 吐口 流水あり、周辺湿地化

P-3 暗渠排水工 西側斜面からの地表水

P-4 暗渠排水工 西側斜面中腹 表流水の洗掘作用による陥没

P-5 暗渠排水工 横ボーリング孔

P-6 暗渠排水工設置位置 No.4付近より起点側を望む

P-7 暗渠排水工設置位置 No.4付近より終点側を望む

吐口埋没 排水は垂れ流し

地表水流下 陥没箇所有り

50m

Q.どのような写真を貼付するのか?

A.全景写真と、点検の際に確認した異常箇所の写真を撮影し、貼付してください。ただし、写真を撮影する時は、安全な場所から行うようにしてください。無理に危険なところまで行って撮影する必要はありません。

全景写真は1枚で納まらない場合もあるので、そのような場合は複数枚撮影し、それぞれのつながりがわかるように記録することが望ましいです。

また、以前と違った状況(例えば、人家ができた等)があれば、情報として写真で記録を残してください。

写真にはコメントをつけたり、異常が見られた箇所がわかるように○で囲む等しておく、理解しやすくなります。

Q.「施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください」とはどのように使うのか?

A.2 点検の際に確認した異常箇所がどこにあるか○で囲んだり、点検時に撮影した写真の撮影位置を示してください。簡単なメモ程度の図でも構いません。(記入例は位置図を貼り付けて使用した場合)

Q.位置図・写真(自由書式)はどのように使うのか

A.点検の際にあった方がよいと思う情報や、これまでの記録を自由に記載してください。また、点検時に得られた情報なども記載してください。点検者が変更した場合でも、情報が引き継げるように、それぞれの現場での留意事項などがある場合はまとめて記載してください。なお、本調査票は記録用であるため、本調査票とは別に、対象とする施設(群)の位置がわかる地図等を用意して、施設(群)の位置関係を把握しながら、現地での点検をしてください。

表 4.2.21 日常管理調査票巡視員版様式 (1/2) 使用例その2

様式-2(1)

地すべり防止施設調査票(擁壁(柵)工) 日常管理調査票(1/2)

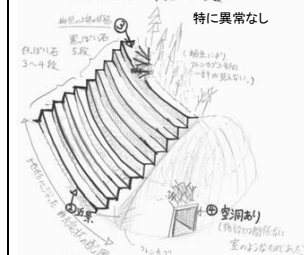
点検年月日	2015/11/19	天候	くもり	点検者	□□□□
諸元	区域名: △△△	ブロック名:	C-5	施工年度:	H-11
	該当施設(施設番号): 擁壁(柵)工( MD-5 )				

対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)
<b>擁壁(柵)工</b> ①本体 ・擁壁(柵)工の有無を確認 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 <input type="checkbox"/> コンクリート擁壁工(コンクリートブロック積みを含む) <input checked="" type="checkbox"/> 柵工( <b>フトンカゴ</b> ) <input type="checkbox"/> 不明 ・材質や形状( )	<input type="checkbox"/> 1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) <input type="checkbox"/> 2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) <input type="checkbox"/> 3.破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 4.湧水※施設周辺の湧水の供給源(不明・有: )	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
<b>付帯施設</b> ②付帯施設 ・付帯施設の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり(落石防護柵等) <input type="checkbox"/> あり(法尻水路等) <input type="checkbox"/> あり(水抜管等) <input checked="" type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) <input type="checkbox"/> 2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) <input type="checkbox"/> 3.破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 4.閉塞・埋没(法尻水路の土砂堆積等)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
<b>周辺状況</b> ③基礎地盤	<input type="checkbox"/> 1.沈下・隆起	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
④周辺の状況	<input type="checkbox"/> 1.施設背面の変状(吸出し・陥没・侵食・湧水・崩落・押し出し・亀裂等) <input type="checkbox"/> 2.構造物背面のすきま	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり ( 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず

・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください(自由記入)

- ・全体的な安定性については問題なし
- ・フトンカゴの横に空洞あり(施設とは無関係の室のようなもの)
- ・曲線状に配置されている。
- ・上部や背後斜面は植生あり。いまのところ構造物背面のすきまは見られない。

・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。(紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)  
 ①全体(通路より見上げる)  
 ②特に異常なし



Q.「施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください」とはどのように使うのか?  
 A3.点検の際に確認した異常箇所がどこにあるか○で囲ったり、点検時に撮影した写真の撮影位置を示してください。簡単なメモ程度の図でも構いません。紙面不足の場合、別紙様式-2(2)「位置図・写真(自由書式)」に記入してください。

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.異常あり (上記の一つでも「異常あり」にチェックがある場合)	2.異常なし
<b>擁壁(柵)工の概略構造</b> ※形状や材質は色々な種類があります コンクリート擁壁工 柵工 柵(木材、コンクリート、金網など) 擁壁(柵)工 地すべり斜面 施設背面	擁壁工は、法先の崩壊を防ぎ、地すべりの誘発を防ぐための施設に直接耐え得るものではなく、地すべり末端斜面の法先が崩壊で移動するような場合に用いられます。	

Q.評価はどのように?  
 A. 上記の異常が見られる項目の中に「異常あり」が一つでもチェックされていれば、最後の評価欄でも「異常あり」と記入して下さい。全て「異常なし」であれば、評価も「異常なし」を選択してください。

表 4.2.22 日常管理調査票巡視員版様式 (2/2) 使用例その2

巡視員版

様式-2(2)

位置図・写真(自由書式) 日常管理調査票(2/2)

点検年月日	2015/11/19	天候	くもり	点検者	■■■■■■■■■■
諸元	区域名: ■■■■■■	ブロック名:	C-5	施工年度:	H11
	該当施設(施設番号): 擁壁(枠)工( MD-5 )				



①全景(道路より見上げる)



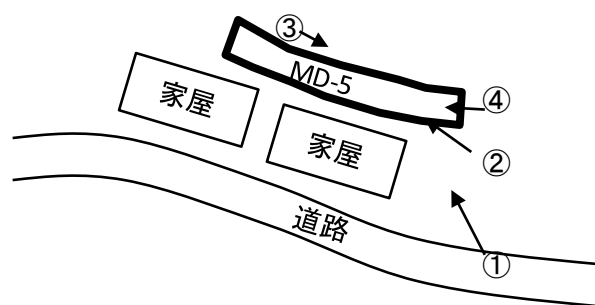
②近景(上5段:黒い石=中詰材は割栗石  
下3~4段:白っぽい石=中詰材は栗石)



③擁壁の上部の状態(背面に隙間なし)  
(※植生があり、見通せない部分もあった。)



④施設横の空洞がある  
(※施設とは関係のない、室のようなものであった)



Q 施設の確認はどこまで行えばよいか？

A. 安全に接近できる範囲で見える範囲を基本としますが、人家裏や道路沿い等の重要な保全対象がある場合は可能な限り全数を確認するように心がけてください。なお、高い法面には登ったりせず、明らかな異常がどの付近に発生しているかを確認してください。遠方からの目視しかできない施設等、双眼鏡を用いて可能な範囲を確認してください。そのような場合、目視状況についてコメント欄等を活用して記録してください。



#### 4.2.2.5 日常管理における点検項目

各工種の点検項目を解説する。なお、ここでの「点検」とは簡単な目視で判別できる程度の異常の有無を確認することとし、点検すべき「部位」としての「周辺状況」とは目安として施設から見渡すことができる範囲(10～20m程度)の状況のこととする。

##### (1) 暗きょ工・明暗きょ工

表 4.2.23 異常の有無を確認する項目(暗きょ工・明暗きょ工)

部位	項目	説明
①暗きょ工	1 排水量がない	吐き口から水が出ていない
	2 吐き口の 明らかな目詰まり	吐き口が詰まっている(図 4.2.1 写真(1))
	3 吐き口の変形・破損	吐き口が曲がる、割れる
	4 吐き口の埋没	吐き口が集水升内等で埋まる
	5 吐き口の位置不明	吐き口が見つげられない
②排水路工	1 変形・破損	目地切れ(図 4. 2.1 写真(2))、ひび割れ、錆(腐食)
	2 閉塞・埋没	土砂や落ち葉などで水路が埋まる(図 4. 2.1 写真(3))
	3 流末位置不明	排水路工の末端(最下流側)が河川や道路側溝などに接続されているか不明
③集水升工・落差工	1 変形・破損	目地切れ、ひび割れ
	2 閉塞・埋没	土砂や落ち葉などで升等が埋まる
④周辺の状況	1 地表の変状	斜面の小崩壊や侵食(降雨や漏水で地表が削られる)が発生する。(沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押し出し・吸出し・亀裂等)が発生する。
	2 湿地の形成	水路等から漏れて水たまりや湧水等が発生する



図 4.2.1 異常事例(暗きょ工・明暗きょ工)

(2) 溪流護岸工

表 4.2.24 異常の有無を確認する項目(溪流護岸工)

部位	項目	説明
①側壁護岸工	1 損壊	構造物がない、倒壊、脱落、中詰め材の流出(図 4.2.2 写真(1)) など
	2 変形	沈下、傾き、継ぎ目のずれ、はらみ出し(図 4.2.2 写真(1))等
	3 破損	ひび割れ(図 4.2.2 写真(2))、摩耗、欠損、鏽(腐食)等
	4 洗掘	特に河床面付近が土砂や水などによって削りとられた状態
②床固め工	1 損壊	構造物がない、倒壊、脱落、中詰め材の流出など
	2 変形	沈下、傾き、継ぎ目のずれ、はらみ出し等
	3 破損	ひび割れ、摩耗、欠損、鏽(腐食)等
	4 洗掘	特に河床面付近が土砂や水などによって削りとられた状態(図 4.2.2 写真(3))
③基礎地盤	1 沈下・隆起	施設を支える基礎地盤の状態を確認する
	2 洗掘	特に河床面付近が土砂や水などによって削りとられた状態
④周辺の状況	1 施設背面の変状	護岸の背後は通常地山や裏込め材などの土砂で満たされている。(吸出し・陥没・侵食・湧水・崩落・押し出し・亀裂等)
	2 構造物背面のすきま	ひび割れ等から背面の土砂が吸出され、構造物背面に「すきま」ができる



図 4.2.2 異常事例(溪流護岸工)